

下水処理場・ポンプ場における維持管理を起点とした
マネジメントサイクルの確立に向けた技術検討会 第3回 議事概要

日時：令和3年3月5日（金）10:00～12:00

場所：Zoomによるオンライン開催

【議事概要】

事務局から配布資料について説明が行われた後、委員の意見を伺った。
委員からの主な意見は以下のとおりである。

1 マネジメントに必要な情報についての意見

- ・維持管理情報における運転情報も項目例に追加していただきたい。
- ・施設・設備情報のうち、製造業者については、設備の不具合等の情報を入手した際に、該当する設備の情報を直ぐに抽出できるように、製造業者の項目を優先的に登録する情報項目に加えていただきたい。

2 データベースシステムの構築についての意見

- ・データベースシステム導入に当たって、企業会計移行に伴って作成した固定資産台帳を活用することも有効である点を補足していただきたい。
- ・資料編に掲載しているデータベースシステムの導入について、これから導入する地方公共団体にとって参考になるため、本編に移してはどうか。
- ・効率的に作業する上で、情報項目の追加や削除が容易にできるデータベースシステムが望ましい旨を記載してはどうか。
- ・データベースシステムの構築に当たって、維持管理情報等をどのように活用していくかの視点が重要であり、検索機能があると有用ではないか。
- ・セキュリティ面として、システム管理では不正アクセスに対して十二分に注意が必要なこと、情報管理では機密情報に関する留意点等を追記してはどうか。
- ・資料編のデータベースシステムの導入に関して、可能であれば、匿名でも地方公共団体での導入事例を示すことができれば、参考になるのではないか。

3 維持管理情報等の蓄積についての意見

- ・データベース化も重要だが、維持管理情報の蓄積・活用がより重要と考えている。
- ・業務の流れの中で、修繕や改築（新設）に当たって、上位計画の見直しが発生する場合があることを記載していただきたい。
- ・タブレット端末の活用を必須とするわけではないということについて、誤解が生じないように考慮していただきたい。

4 維持管理情報等の活用についての意見

- ・優先順位の検討への活用事例としては、初めて見た人でも分かりやすいように、水処理施設だけでなく、汚泥処理設備や揚水設備に関する例示があった方が良いのではないか。
- ・優先順位の検討、実施時期の検討、調査・診断及び修繕・改築計画の検討、これらの関連が読者に伝わるのか、一つ前までの検討を踏まえた次の検討の考え方が見えづらく、スト

ックマネジメント計画の策定手順とどのように結びつくのか分かりにくい。活用できる方法から蓄積すべき情報を示すような流れの記載ができれば、より分かりやすくなるのではないか。

5 その他意見（ガイドラインを踏まえ、今後取り組むべき点や期待する点）

- ・ 今後のマネジメントには維持管理情報が重要な役割を果たすと考え。システムの構築がなされるまでの間の蓄積方法として、維持管理事業者、修繕業者等から簡易的な方法（エクセル等）による情報の提供を受けるため、必要な情報の項目が記載された書式を例示していただければ取り組みやすいのではないかと考える。